

文書質問書

質問事項	質問の具体的内容
平和祭事業について	<p>亀岡市は恒久平和を希求する世界平和宣言都市として、22の平和祭事業を行っているという。その中の一つの事業、「亀岡平和祭保津川花火大会」は、もともとは亀岡市内の商業者が集まり、顧客への還元として始まったと聞いている。</p> <p>この運営が費用面・人員面を含めて危ぶまれる事態となっている。これは近年の安全警備などに対する許可事務や、実際の安全管理上のコスト等が増大していることも理由の一つとなっており、商工会議所主体では困難なことが多い。</p> <p>最近では平和祭の一事業として開催されていることから、これを存続するならば、平和祭事業の見直しを行い、市の事業の一環として全体のバランスを含めて検討する必要があると考える。</p> <p>(1) 花火大会は継続すべきと考えているのか。</p> <p>(2) 平和祭事業全体について、諸々に担当課がまたがっているため、取捨すべき機関がないのではないのか。</p> <p>(3) 平和祭事業全体を見直すため、全てを把握し、総合的に検討する機関を設置すべきではないのか。</p> <p>(4) 花火大会を必要と結論づけるならば、事務局を市が受け持つことも視野に入れて検討すべきだがどうか。</p>

上記のとおり文書により質問します。

平成28年 1月 8日

亀岡市議会議長 西口 純生 様

亀岡市議会議員 福井 英昭